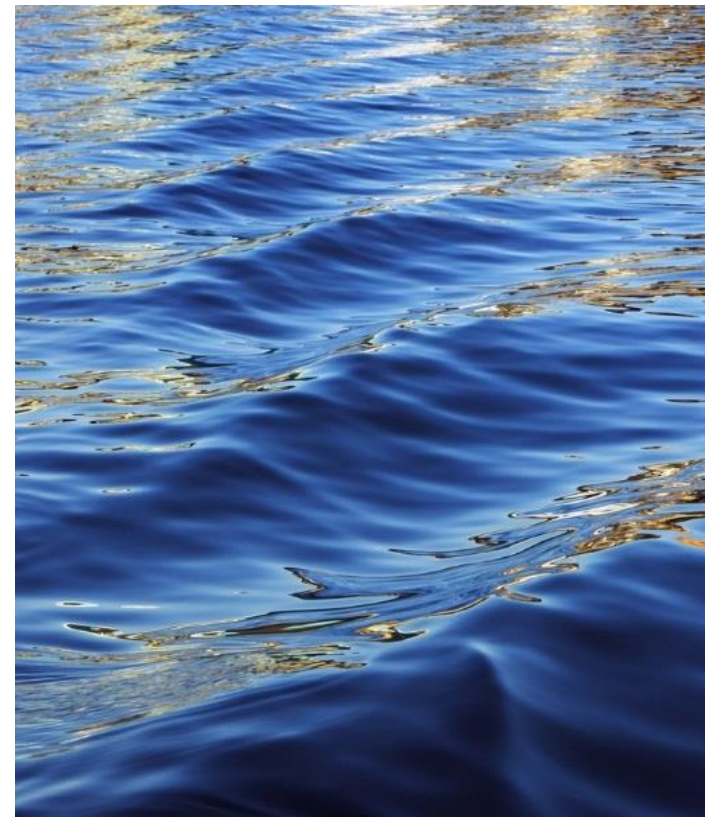




ゼロエミやまなし ウェルビーイング研究所

環境・循環型社会・デジタルを繋げる
研究・コンサルティングを行います



グリーン×デジタル社会システムコンサルティングサービス

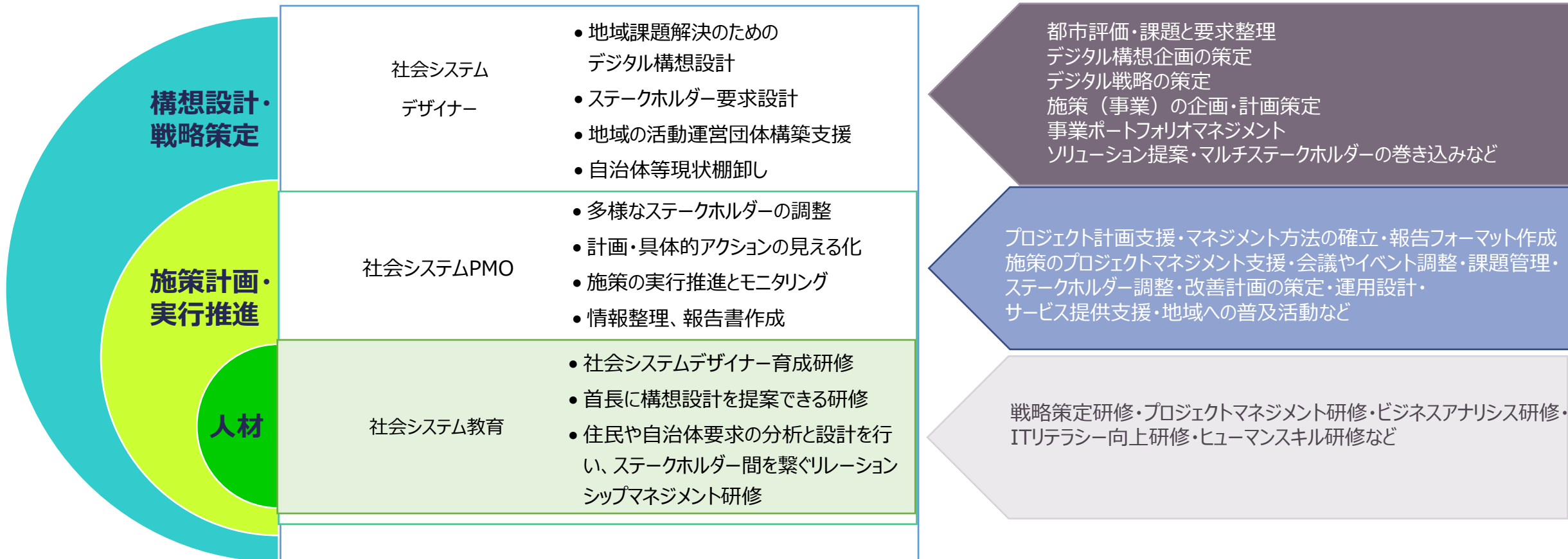
脱炭素×地方創生、ふたつの達成をめざした
コンサルティングサービスと研修サービス



COVID-19後は政府や自治体のデジタル化に拍車がかかり、中央から地域に人の流れも変わってくる。

また、デジタル化と共に必須で取り組む必要があるSDGsやゼロカーボン。日本全国でSociety5.0 + SDGsの流れが進んでいく。

そのような大きな変化の中で、社会システムを大きく変える必要があり、また、ひとつひとつの施策を推進し、地域や住民に価値を届けるためには、社会システムやDXに関して企画・推進できる専門家が必要になる。地域でのデジタル化の構想設計を行い、地域のステークホルダーを巻き込み（マルチステークホルダープロセス）、自治体や住民と共に進める役割を担います。

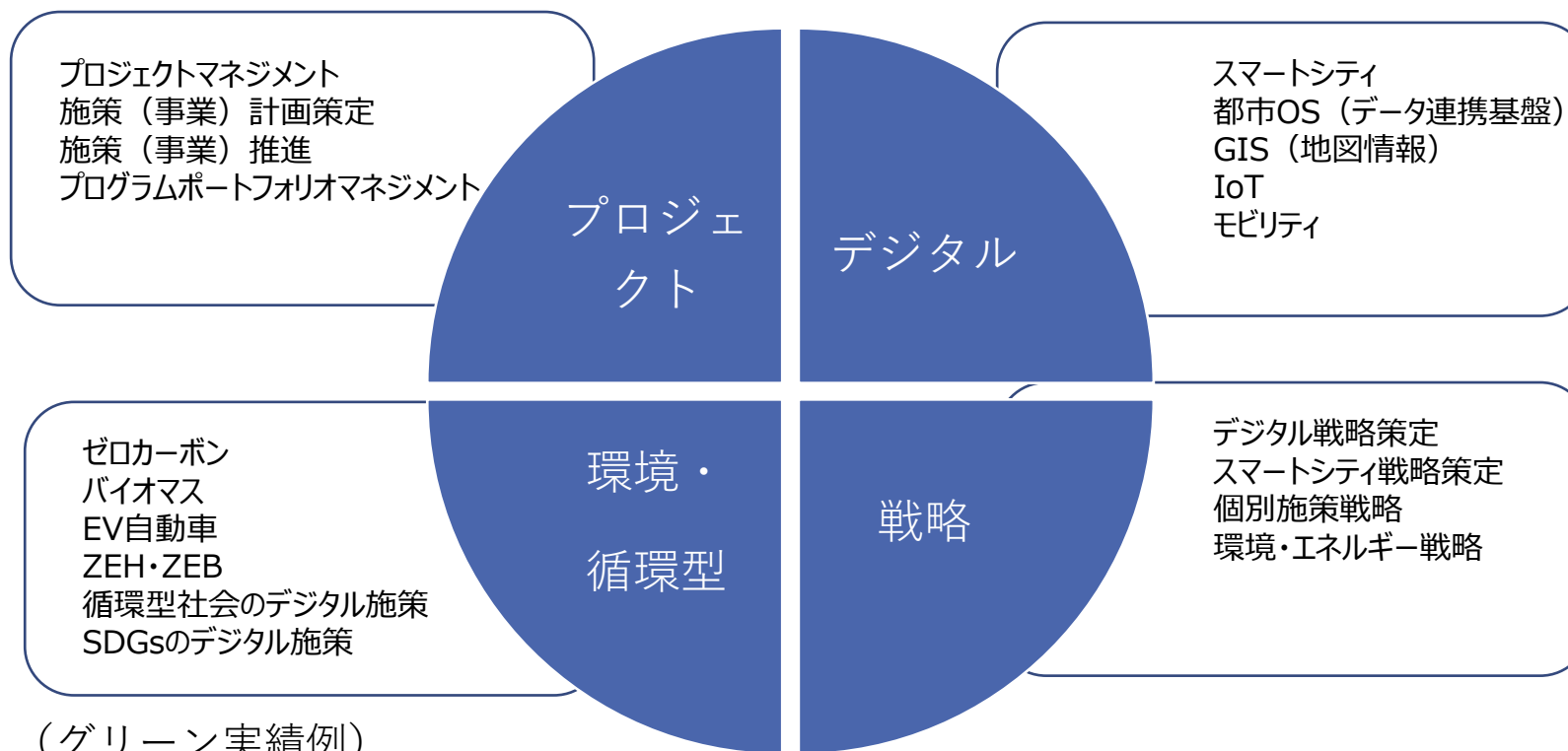


ゼロエミやまなし・ウェルビーイング研究所の強みと人材

自治体の戦略策定・環境やSDGsの課題解決・デジタル化の課題解決・
 専門人材のアサイン・研究者との協働

有資格のスペシャリストが
 対応します

IT戦略企画・推進のコンサルタント経験、政府や自治体でのシステム構築ノウハウがあります。
 また、プロジェクトやプログラムなど施策の推進を行う専門のPMOサービスを行ってきた専門家が社会システムの構想や推進を支援します。
 分野の専門的な研究として国立環境研究所、事業構想大学院大学、東京大学、地球環境戦略機構の研究者の方が研究参画いただけます。



(グリーン実績例)

内閣府の地方創生ゼロカーボン推進業務有識者委員（自治体実務者マニュアル）
 環境省脱炭素マッピング（GIS）事業（複数テストサイト）

自治体・地域での戦略・デジタル人材としての活動内容について紹介

地域や行政のデジタル戦略を策定支援や実行支援を行っている。

■ 中核市 C D O 統括補佐官

デジタル・ICT実行計画策定、副市長定例ディスカッション、原課のデジタルプロジェクトアドバイスや支援、データ連携基盤（都市OSについてのレクチャーやロードマップ作成）、各種デジタル助成金についてのアドバイス、国の動きや他自治体の動向レクチャー、新規事業企画、幹部向けプロジェクトマネジメント研修、原課戦略策定支援、プロジェクトマネジメントの導入・定着、ビジネスアナリシス講座とワークショップによる事業企画の研修、原課事業の立ち上げ支援や実行支援、広域自治体外部人材の意見交換、デジタル田園相談、庁内人材育成相談、各種相談

■ 中核市戦略デジタルマネージャ

デジタル戦略策定、各原課のデジタル施策についてアドバイス、庁内でのデジタル企画検討タスクフォースチームの支援や企画策定の研修・成果物へのアドバイス、政策局長・総務局長との定例ディスカッション、デジタル田園都市構想事業の中核的経営人材、デジタル戦略本部会議参加（市長議長）、議員勉強会、環境局とのGISによる見える化、議員勉強会講師、ベンダー調整・調達支援、各種相談

■ 基礎自治体（人口1万人以下） アドバイザー

情報化計画へのアドバイス、事業推進に向けての情報提供や相談、地域商社や農家のデジタル化などの相談、デジタル田園施策のアドバイス、サテライトオフィスや関係人口増加の相談、地域のデジタル人材育成と就労先の情報提供

■ 県 循環型社会デジタルコーディネーター

循環型社会分野のデジタル事業企画、環境省・産廃電子マニフェストの取組み参加、各種デジタル施策へのアドバイス、幹部向けプロジェクトマネジメント研修、官民連携エールラボえひめ支援、専門人材研修（県・基礎自治体への循環型、脱炭素研修）、専門人材部会報告

■ 県 デジタルパートナー デジタル戦略支援、林業DX研修、など

■ 基礎自治体（人口1万人以下） DX推進アドバイザー デジタル人材育成、ビジネスアーキテクト研修など



プログラムリーダー :

独立系IT企業、独立行政法人関連IT企業にて多様な業種のシステム開発、プロジェクトマネジメント、や新技術事業検討、経営企画などの役割を担い、ここ数年は、IT企業にてR&D部門でのマネジメント

(戦略技術センター副センター長)を担い、自らも実証実験の企画実行を行う。スマートシティや政府連携を行うSmart Society推進室長を務め、社会システムの新規事業の企画検討を進めた。事業の一環として、富山市センサーネットワークでの公共施設の見える化の実証実験の実施、山梨県や北杜市とNPOが進めるゼロカーボンの活動の推進やGISによる見える化ワークショップ等を行う。

現在、複数の50万人の中核都市のCDOやCDO補佐官、1万人の町のアドバイザー、30万人都市のBPR支援のマネジメント、県の循環型社会担当デジタルコーディネーターにも従事し、戦略策定から地域や行政のデジタル化を推進に関与。また、脱炭素の戦略・ロードマップ作成やCO2の見える化など環境省の「脱炭素×地方創生」事業にも有識者として参画。

プロジェクトマネジメントのグローバルNPOであるPMI日本支部にて副会長、地域サービス担当理事を担う。資格としてPMP®、CBAP®、公認システム監査人、安全確保支援士、SAFe Agilist、一財)認定コーチ等の資格保持。

専門職修士ではプライバシー影響評価(PIA)を研究。博士では多様なステークホルダーの合意形成を行うマルチステークホルダープロセスの研究を行う。現在は国のサイバーセキュリティトレーニングのマネジメントにも従事。

マネージングリーダー :

大手SierにてSE・システムコンサルタントとして勤務。マラヤ大学MBAコースに留学、経営学修士。ソニー株式会社に転職し、ビジネス事業部の業務改革部門および情報システム部門において、多くのグローバルプログラムやプロジェクトのマネジメント業務、グローバルPMO組織の確立、グローバルビジネスアナリシス・ビジネスプロセスマネジメントCOE組織の確立、エンタープライズアーキテクチャやポートフォリオマネージャー等、幅広い領域でマネジメントを行う。4年半中国に赴任し、東アジアおよび中国リージョンのITマネジメントを担当。

豊富な実務経験と確かな知識・スキルを保有することで初めて取得が可能とされるPgMP®、CBAP®、BRMP®およびCITA®(Business Architecture)/TOGAF®のビジネスおよびIT上流領域の主要資格を保有し、ビジネスアジリティやアジャイル領域においても、PMI® DASSM、SAFe® SPC/APM/POPM、CSM/CSPOなど、スクラムだけでなくエンタープライズアジャイルの主要資格を保有。

現在、熊本県内の自治体のデジタル人材・アドバイザーを担う。専門的なスキルを持ち、プロジェクトマネジメント支援、デジタル戦略策定支援のほか、人材育成、研修など、幅広く活動。

実績と人材例

戦略策定（ビジネスアナリシス）、実行計画や実行支援（プロジェクトマネジメント）、デジタル・ITスキルなどのスキルを持つスペシャリストの人材を派遣予定

社会システムPMO：

IT上流工程での企画・設計に携わり、さまざまな分野のシステム構築と運用をに担う。30万人規模の自治体のBPR/RPAの企画・推進計画を設計、実行ガイドラインなどを作成し推進した。
ビジネスアナリシスやプロジェクトマネジメント関連資格を有し、グローバルなビジネスアナリシスの資格発行組織の理事も担う。

資格としてPMP®、CBAP®、他、IT資格を保持

戦略アドバイザー：

外資企業のプロジェクトマネージャとして長年活動。ITコンサルタントや人気研修講師として、企業やオープンな講座を行っている。
地裁の調停委員も行っており、ITに関する法務や課題に関して経験が豊富。
海外ベンダーとの業務経験なども豊富で、現在もベトナムの企業と日本をつなぐ役割を担っている。
女性リーダー育成や交渉力などの研修も行っている。

デジタル事業支援：

デジタルに関与する行政や地域の事業企画、要求まとめや仕様書作成。
提案審査なども行う。
自治体へのプロジェクトマネジメントツールの導入、事業の成功に向け、研修や導入支援なども行う。
中枢市のCDO補佐官、脱炭素と地域創生の支援サポート人材としても活動。

資格としてPMP®、他、IT資格を保持

ITコンサルタント・調達マネジメント：

損保での経験を経て、プロジェクトマネジメントの専門家としても活動。新規事業の立ち上げも行い、現在は、自治体の研修やコンサルティングを行っている。
調達部分に関するマネジメントや契約関連など知識と経験が豊富。

資格としてPMP®、他、ファイナンス関連資格を保持

他、ニーズにあったメンバーの支援を調整いたします。

自己紹介：



社会システムには多くの関係者の合意形成が必要であり、ジオデザインや都市評価を利用して地域に見える化をおこなっていきたくと考えております。（マルチステークホルダープロセス）

また、地域での課題解決を進める社会システムの施策が、一時的なものでなく、継続した事業として地域での循環を作れるよう支援をしていきたく考えています。そのような事業化には、地域の住民や組織、企業の方々の力が必要です。

社会システムとは、既存産業を横串した「**生活者・消費者への価値提供の仕組み**」である。

